



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 フジテック株式会社

コード番号 6406 URL <http://www.fuiitec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 高一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長 (氏名) 加藤 義一

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 0749-30-7111

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	53,715	10.3	3,628	74.0	3,743	81.1	1,977	91.7
24年3月期第2四半期	48,717	△1.8	2,085	△8.7	2,066	△11.5	1,031	△9.2

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 2,993百万円 (128.2%) 24年3月期第2四半期 1,311百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	21.14	—
24年3月期第2四半期	11.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	110,479		70,013		58.7
24年3月期	107,213		67,915		58.9

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 64,844百万円 24年3月期 63,138百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	9.5	7,500	39.8	7,700	32.8	4,300	64.9	45.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しています。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	93,767,317 株	24年3月期	93,767,317 株
25年3月期2Q	199,013 株	24年3月期	198,039 株
25年3月期2Q	93,568,868 株	24年3月期2Q	93,572,225 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了し、平成24年11月6日付でレビュー報告書を受領しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. その他 .....	11
(1) 受注及び販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

(金額単位：百万円未満切捨て)

	前第2四半期 連結累計期間  (2011年4月1日～ 2011年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間  (2012年4月1日～ 2012年9月30日)	前年同四半期比(%)
売上高	48,717	53,715	10.3
国内	22,139	22,472	1.5
海外	26,577	31,242	17.6
営業利益	2,085	3,628	74.0
経常利益	2,066	3,743	81.1
四半期純利益	1,031	1,977	91.7
1株当たり四半期純利益	11.02円	21.14円	—

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国では緩やかな回復基調が持続しましたが、中国、インドを始めとするアジア地域の景気減速が長期化し、欧州では景気が後退するなど、総じて減速傾向となりました。日本経済は、復興需要等を背景とした緩やかな回復が続きましたが、長引く円高や海外経済の減速の影響もあり、停滞感が見られました。

昇降機業界におきましては、中国では堅調な需要が持続しましたが、その他のアジアおよび北米では足踏み状態が続き、欧州では低調に推移しました。日本では、近畿圏を中心にマンション着工が増加するなど、一部で需要の回復が見られました。

このような情勢のもと、当第2四半期連結累計期間における国内市場では、モダンゼーション事業で、低コスト、短工期で既設エレベータの快適性・安全性を高める「制御盤交換パッケージ」の販売が引き続き拡大しました。さらに、戸開走行保護装置、P波センサー付地震時管制運転装置、耐震補強実施の3項目に対応した、国庫補助金の対象となる「安全向上パッケージ」の販売を7月から開始し、拡販に努めています。以上に加えて、新設事業でマンション向けに標準型エレベータ「エクシオール」の受注が伸長した結果、国内受注高は270億8百万円（前年同四半期比15.1%増）となりました。

海外市場においては、中国でのエレベータ新設工事が大幅に増加し、海外受注高は363億41百万円（同25.2%増）となりました。

以上の結果、受注高合計は、633億49百万円（同20.7%増）となりました。

売上高は、国内売上高224億72百万円（前年同四半期比1.5%増）、海外売上高312億42百万円（同17.6%増）となり、計537億15百万円（同10.3%増）となりました。

受注残高は、国内では、モダンゼーション工事やエレベータ新設工事の増加により、389億68百万円（前連結会計年度末比13.3%増）となり、海外では、中国を始めとする東アジアでの増加により、691億52百万円（同8.7%増）となりました。この結果、受注残高合計は、1,081億21百万円（同10.3%増）となりました。

損益面では、日本や東アジアでの増益に加え、北米での損益改善により、営業利益は36億28百万円（前年同四半期比74.0%増）、経常利益は37億43百万円（同81.1%増）となりました。特別損益の純額は、投資有価証券評価損などで、72百万円の損失となり、税金等調整前四半期純利益は36億70百万円（同70.3%増）となりました。税金費用が前年同四半期比4億72百万円増加し、四半期純利益は19億77百万円（前年同四半期比91.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同四半 期比(%)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同四半 期比増減額
日 本	23,609	23,945	1.4	518	1,249	730
北 米	5,031	5,792	15.1	△409	79	489
欧 州	226	159	△29.6	△13	△12	0
南アジア	4,805	5,088	5.9	818	774	△44
東アジア	17,688	21,576	22.0	1,164	1,554	389
小 計	51,362	56,563	10.1	2,079	3,644	1,565
調 整 額	△2,645	△2,847	—	6	△16	△22
合 計	48,717	53,715	10.3	2,085	3,628	1,542

(日 本)

売上高は、モダニゼーション工事の増加により、239億45百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。営業利益は、原価低減や固定費圧縮に加えて、モダニゼーション工事の売上増により、12億49百万円（同7億30百万円増）となりました。

(北 米)

売上高は、新設工事、保守・サービス事業ともに増加し、57億92百万円（前年同四半期比15.1%増）となりました。営業利益は、新設工事の採算改善および保守・サービス事業の利益率向上により、79百万円（前年同四半期 営業損失4億9百万円）となりました。

(欧 州)

売上高は、エスカレータ販売の減少により、1億59百万円（前年同四半期比29.6%減）、営業損益は、12百万円の営業損失（前年同四半期 営業損失13百万円）となりました。

(南アジア)

売上高は、新設工事の増加により、50億88百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。営業利益は、新設工事の原価増などで、7億74百万円（同44百万円減）となりました。

(東アジア)

売上高は、中国を中心に新設工事が大きく伸長し、215億76百万円（前年同四半期比22.0%増）となり、営業利益は、売上高の増加に伴い、15億54百万円（同3億89百万円増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、1,104億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億65百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億67百万円増加し、404億65百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した一方、前受金が増加したことによります。

純資産額は、700億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億98百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が増加したことによります。また、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は58.7%（前連結会計年度末比0.2ポイント減）となり、1株当たり純資産額は693.02円（同18.24円増）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、147億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億72百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益36億70百万円、減価償却費9億92百万円および前受金の増加などで、56億62百万円の収入（前年同四半期比16億76百万円の収入減）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金（期間が3ヵ月超）の預入れ・払戻しの純額19億9百万円の収入に対し、有形固定資産の取得5億84百万円などの支出により、14億55百万円の収入（前年同四半期比4億95百万円の収入増）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少13億63百万円および配当金の支払いなどにより、23億円の支出（前年同四半期比2億70百万円の支出減）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、世界経済の先行きが依然として不透明であり、前期決算発表時（2012年5月11日）の見通しを変更していません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、2012年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,150	28,709
受取手形及び売掛金	25,457	25,884
商品及び製品	2,704	2,959
仕掛品	2,640	2,944
原材料及び貯蔵品	5,844	5,541
その他	4,191	4,317
貸倒引当金	△557	△657
流動資産合計	65,431	69,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,774	17,410
機械装置及び運搬具（純額）	2,164	2,158
工具、器具及び備品（純額）	1,375	1,451
土地	6,807	6,809
リース資産（純額）	8	6
建設仮勘定	465	542
有形固定資産合計	28,594	28,379
無形固定資産		
のれん	694	666
その他	1,811	1,835
無形固定資産合計	2,506	2,501
投資その他の資産		
投資有価証券	4,281	3,724
長期貸付金	1,916	1,914
その他	4,628	4,403
貸倒引当金	△145	△145
投資その他の資産合計	10,681	9,897
固定資産合計	41,782	40,778
資産合計	107,213	110,479

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,567	11,952
短期借入金	1,832	477
1年内返済予定の長期借入金	11	227
未払法人税等	669	753
賞与引当金	1,710	1,682
工事損失引当金	2,900	2,930
その他の引当金	473	376
前受金	9,607	11,777
その他	4,629	4,269
流動負債合計	33,401	34,448
固定負債		
長期借入金	1,500	1,267
退職給付引当金	4,122	4,476
その他	273	273
固定負債合計	5,896	6,017
負債合計	39,298	40,465
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,565	14,565
利益剰余金	57,228	58,551
自己株式	△130	△131
株主資本合計	84,197	85,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455	128
為替換算調整勘定	△21,514	△20,803
その他の包括利益累計額合計	△21,058	△20,674
少数株主持分	4,777	5,168
純資産合計	67,915	70,013
負債純資産合計	107,213	110,479



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年9月30日)
売上高	48,717	53,715
売上原価	39,050	41,795
売上総利益	9,666	11,920
販売費及び一般管理費	7,580	8,291
営業利益	2,085	3,628
営業外収益		
受取利息	116	172
受取配当金	69	62
その他	105	94
営業外収益合計	291	329
営業外費用		
支払利息	49	32
為替差損	194	158
その他	66	23
営業外費用合計	310	214
経常利益	2,066	3,743
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	18	0
受取和解金	150	—
特別利益合計	169	1
特別損失		
固定資産除売却損	22	23
投資有価証券売却損	7	—
投資有価証券評価損	51	49
特別損失合計	80	73
税金等調整前四半期純利益	2,155	3,670
法人税、住民税及び事業税	557	801
法人税等調整額	140	368
法人税等合計	697	1,170
少数株主損益調整前四半期純利益	1,457	2,500
少数株主利益	425	522
四半期純利益	1,031	1,977

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,457	2,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174	△326
為替換算調整勘定	28	819
その他の包括利益合計	△145	493
四半期包括利益	1,311	2,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	835	2,361
少数株主に係る四半期包括利益	476	631

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,155	3,670
減価償却費	1,071	992
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	103	90
受取利息及び受取配当金	△185	△234
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△183	△35
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	101	8
売上債権の増減額 (△は増加)	2,193	△106
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,274	△110
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,734	238
前受金の増減額 (△は減少)	2,985	2,012
有形固定資産除売却損益 (△は益)	21	22
その他	△967	△184
小計	7,755	6,364
法人税等の支払額	△415	△701
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,339	5,662
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,337	△3,191
定期預金の払戻による収入	3,649	5,100
有形固定資産の取得による支出	△693	△584
有形固定資産の売却による収入	17	1
投資有価証券の売却による収入	143	1
利息及び配当金の受取額	157	206
その他	23	△78
投資活動によるキャッシュ・フロー	960	1,455
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,975	△1,363
長期借入れによる収入	216	—
長期借入金の返済による支出	△6	△5
利息の支払額	△37	△34
配当金の支払額	△654	△654
少数株主への配当金の支払額	△209	△237
その他	94	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,571	△2,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	65	254
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,794	5,072
現金及び現金同等物の期首残高	8,223	9,718
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,018	14,790

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)  
該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	22,163	5,021	224	4,804	16,503	48,717	—	48,717
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,446	10	2	1	1,184	2,645	△2,645	—
計	23,609	5,031	226	4,805	17,688	51,362	△2,645	48,717
セグメント利益又は損失(△)	518	△409	△13	818	1,164	2,079	6	2,085

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額6百万円には、セグメント間取引消去8百万円およびたな卸資産の調整額△2百万円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	22,503	5,784	156	5,088	20,182	53,715	—	53,715
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,441	7	3	0	1,394	2,847	△2,847	—
計	23,945	5,792	159	5,088	21,576	56,563	△2,847	53,715
セグメント利益又は損失(△)	1,249	79	△12	774	1,554	3,644	△16	3,628

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△16百万円には、セグメント間取引消去6百万円およびたな卸資産の調整額△23百万円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)  
該当事項はありません。

## 4. その他

## (1)受注及び販売の状況

## ①受注状況

当第2四半期連結累計期間における国内・海外別の受注および受注残高は次のとおりです。

	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前期末比(%)
国内	27,008	15.1	38,968	13.3
海外	36,341	25.2	69,152	8.7
合計	63,349	20.7	108,121	10.3

(注) 上記の金額に消費税は含めていません。

## (当第2四半期連結累計期間における主な受注物件)

所在地	納入先	概要
米国・ニューヨーク州	388 ブリッジ・ストリート	地上51階建の超高層住宅向けエレベータ
インド・マハーラーシュトラ州	ICCモール・ハイ・ストリート	商業施設向けエレベータ・エスカレータ・オートウォーク 計38台
マレーシア・ジョホール州	トロペ・レジデンス・トロピカーナ・ダンガ・ベイ	地上38階建の高層住宅向けエレベータ21台
台湾・台南市	國泰台南建興段	大型複合施設向けエレベータ・エスカレータ 計43台
中国・北京市	望京SOHO	大型複合ビル向けエレベータ・エスカレータ 計142台
東京都	(仮称)室町東地区開発計画2-3街区	日本橋室町東地区の複合施設向けエレベータ・エスカレータ 計20台
東京都	JR大塚駅南口ビル	山手線大塚駅に直結する複合ビル向けエレベータ・エスカレータ 計15台
京都市	ザ・リッツ・カールトン京都	鴨川河畔の最高級ホテル向けエレベータ

## ②販売実績(売上高)

当第2四半期連結累計期間における国内・海外別の販売実績(売上高)は次のとおりです。

	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
国内	22,472	1.5
海外	31,242	17.6
合計	53,715	10.3

(注) 上記の金額に消費税は含めていません。

## (当第2四半期連結累計期間における主な完成物件)

所在地	納入先	概要
香港	イビス・ホンコン・セントラル&ションワン	フェリーターミナルのあるションワン地区のホテル向けにエレベータ11台を納入
香港	グッドマン・インターリンク	チンイー港地区の大型物流施設向けにエレベータ22台を納入
中国・重慶市	星光時代広場	大型商業施設向けにエスカレータ・オートウォーク 計65台を納入
東京都	東京芸術劇場	リニューアルオープンに伴う既設エレベータのモダンゼーション工事
千葉県八千代市	パークタワー八千代緑が丘	地上31階建高層タワーマンション向けにエレベータを納入
新潟市	新潟県庁行政庁舎	既設エレベータのモダンゼーション工事
大阪市	阪急うめだ本店	11月リニューアルオープンの阪急百貨店に展望用4台を含む 計9台のエレベータを納入
岡山市	JR岡山駅西口ビル	JR岡山駅に直結する複合ビル向けにエレベータを納入